

外部評価検討結果報告書

柳井農林水産事務所農業部

(みかんの島を未来につなぐ～かんきつ産地3,000 tの維持に向けた周防大島の挑戦～)

令和8年3月 柳井農林水産事務所農業部

活動全般に関する意見や次年度普及指導計画等への改善提案	外部委員評価に対する次年度普及指導計画等への改善策等
<p>地域の現状課題に取り組み、営農意向調査の結果を用いて今後の園地継承、担い手対策に向けての入り口の部分となるオープンカレッジの開校支援や産地ツアーなど新規就農者確保の流れを構築化されている点は大変素晴らしいと思います。 新規就農者への経営安定についての支援内容をもう少し具体的に知りたいと思いました。</p>	<p>今回の発表会では詳細説明は行いませんでしたが、プロジェクト課題活動計画の中では新規就農者の営農計画目標達成への支援強化に取り組んでいます。 具体的には各生産者が要望する円滑な事業導入や園地拡大、栽培管理技術の向上等の課題解決に向けた支援、関係機関による定期的な園地巡回による生産状況の把握と助言等を行っています。新規就農者の状況に応じて、適宜きめ細かな支援や支援内容の見直し等に取り組んでいます。</p>
<p>県、町、JAとの連携が良く図られており、周防大島町を上げての取組みを今後も期待します。 3,000tを目指した新規就農者確保については、もう一歩踏み込んだ施策も必要と考えます。</p>	<p>現在の取り組みでも、十分な新規就農者数の確保は出来ておりません。今後も関係機関が連携しながら移住関連、観光業等の他産業との連携も強化し、更なる募集活動の強化、新規就農者の育成に取り組んでまいります。</p>
<p>県・町・JAと強固に連携した活動体制を構築して、担い手の募集から就農前後の技術習得まで、連続性と有効性の高い普及指導を行っている。「周防大島モデル」とでも呼ぶべき総合的な担い手支援の体制から普及性も非常に高い。3,000t維持のため13人/年の就農者確保はハードルが高いと思われるが、新選果場実現による省力化で一層の担い手増加も期待できる。</p>	<p>産地振興においては、新規就農者の募集・育成、園地の確保、選果場の整備、販路拡大等様々な取り組みを一体的かつ総合的に取り組む必要があります。今後も、町、JA等と連携し取り組みを進めてまいります。</p>
<p>担い手不足の課題を「ひと・とち・もの」の課題に分解してそれぞれアプローチする手法が素晴らしかった。目標収穫量3,000tの分担も含め、大きな目標から小さな目標に分けて対処する手法が良かった。 また営農塾や国・町の補助制度などの既存制度を活用して新たな取組を行っているところが良かった。</p>	<p>町、JA、県のワーキングチームの中で、現状及び課題把握、対策について十分議論し方向性を出してきました。様々な課題が山積している状況ですが、関係機関が連携して一つ一つ解決を図りながら、産地振興、目標達成に取り組んでまいります。</p>

外部評価検討結果報告書

山口農林水産事務所農業部（担い手間の連携による持続可能な営農体制の再構築）

令和8年3月 山口農林水産事務所農業部

活動全般に関する意見や次年度普及指導計画等への改善提案	外部委員評価に対する次年度普及指導計画等への改善策等
<p>集落営農法人、大規模経営体の高齢化や後継者不足の問題に着目し支援チームを結成し対策を検討した点について大変素晴らしいと思います。 合同検討会の意見交換後に推進方向の見直しが必要になってくるなどご苦労されたと思います。 その後、新たな課題が持ち上がった点について、流れがあったからなのかを知りたいと思いました。</p>	<p>集落営農法人の解散については、法人内での労力面の将来的な不安が大きな要因であると考えています。 このタイミングでの解散意向は、今回の合同検討会で周辺地域の法人・経営体の情報を得られたことによるものが少なからず影響していると思われます。 団地化したままの形で農地を継承したことに併せて、解散する集落営農法人による労力面の支援が、受け手である大規模経営体の後押しになったと思われるます。</p>
<p>今回の事例は一定程度地域で話が出来ていたものであり、「出し手」から「受け手」への農地集約については比較的スムーズに実施できた事案と思います。 今後については、今回の手法も含めて地域意見の取り纏めや「受け手」に対する今後の支援も含めた普及活動の整理をお願いします。</p>	<p>今回の大規模経営体(受け手)に対しては、面積が拡大した中で麦作付けをしたこともあり、栽培管理指導を始めとして引き続き伴走支援をしていきます。</p>
<p>共倒れの危険がある中で地域内での連携は急務であるが、特に難しいとされる隣接する経営体間で農地継承に導いた点は高く評価できる。しかしやや偶発的な成果であることも否めず、現状の体制や手法では成果の波及性に不満が残る。担い手間の連携をどのように促すのか、本成果から有効な普及指導の計画や体制、手法などを整理する必要があるようである。</p>	<p>今回の合同検討会等で、事前の検討がなされていたことが、今回の事態に適正に対応し、解散法人から、団地化したままの農地を地域内の大規模経営体に継承できた成果だと考えています。</p>
<p>高齢化・後継者不足の中で農地を維持していくため、現状分析から事業者の意向確認を行い、支援を進めていたのが良かった。 支援チームで準備をしすぎたという反省点があったが、それを踏まえて担い手の意見を重視した支援に切り替えられていて良かった。</p>	<p>それぞれの地域での課題に対し支援チームが同様なものと感じたため、広域による担い手連携の提案をしてしまったと思います。 地域の課題は個々で異なっており、今回のケースでは広域での担い手連携ではなく、地域を限定した対応に切り替えたことが成果を得たと考えており、今後も、丁寧に地域内の声を聞き、地域農業の継続に向けた支援をしていきます。</p>

外部評価検討結果報告書

美祿農林水産事務所農業部

(スモールステップで産地の意識改革～秋芳梨産地における担い手確保・育成の取組～)

令和8年3月 美祿農林水産事務所農業部

活動全般に関する意見や次年度普及指導計画等への改善提案	外部委員評価に対する次年度普及指導計画等への改善策等
<p>地域の問題点に着目し、産地見学ツアーやインターネット上での産地情報の掲載支援など、新規就農者募集のための取組みは素晴らしいと思います。 新規就農者数の実績としては令和4年までなので、それ以降の見学ツアー以外での成果があれば、もっと知りたいと思いました。</p>	<p>残念ながら令和5年度以降、新規就農者の受け入れ実績はありません。そのことが、今回の産地主体の募集活動や受け入れ体制の確立に向けた取組につながっています。 次年度以降は、不断の見直しを行いつつ継続的な募集活動、受け入れ体制整備を図りながら、新規就農者の確保に向けた活動を支援してまいります。</p>
<p>今年度からの新規就農に対する取組みであったため、少し間口を広げた形の活動となりましたが、きっかけづくりについては良かったと思います。 今後は新規就農に焦点を絞った場合の活動の実施に期待します。</p>	<p>過去の新規就農者の受け入れに関しては、既存生産者のリタイアと就農希望意向者の確保が偶然一致したタイミングでの実績であったことから、今回の取組は常時受け入れが可能となる体制整備にも取り組んだものです。 これらの継続的な取組が新規就農につながるよう産地の活動を支援してまいります。</p>
<p>関係者が連携して産地協議会を設立したことで、移住と就農の一体的な支援体制が確立できたことは評価できる。また、技術指導部の基礎講習や青年同志会の活性化によって担い手間で学び合う仕組みも構築できている。こうした優れた体制や活動に対して、新規就農者数は伸び悩んでいる。組合長自身がIターン就農者であることから、移住就農の波及を期待する。</p>	<p>新規就農者の受け入れにおいて、直近の移住就農者の確実な定着実績が重要と考えられることから、若手生産者の経営発展を支援する活動を展開しています。 今後も、産地が主体となった募集活動や受け入れ体制の充実を図るとともに、移住就農者を含めた若手生産者が活躍できる活動を支援してまいります。</p>
<p>梨組合の他、市やJAといった関係機関の意欲が農業部の事業実施を通じて高まっていく様子が感じられた。事業者・関係機関を巻き込んで支援をしていくという理想的な支援体制ができていると感じた。</p>	<p>事業者及び関係機関と共に当事者意識の醸成を図ることができ、同じ目的（方向性）を共有できていると自負しております。引き続き目に見える成果である「新規就農者の確保・定着」の実現に向け注力してまいります。</p>

外部評価検討結果報告書

長門農林水産事務所農業部（集落営農法人連合体「(株)長門西」の機能強化に向けた取組）

令和8年3月 長門農林水産事務所農業部

活動全般に関する意見や次年度普及指導計画等への改善提案	外部委員評価に対する次年度普及指導計画等への改善策等
<p>地域の現状を細かく把握し、集落営農法人連合体の事業拡大に向けての取組み、雇用の実現に成果を上げた点について大変素晴らしいと思います。 地域に合った支援を今後も継続してお願いしたいと思います。</p>	<p>次期普及指導計画でもプロジェクト活動の対象として(株)長門西を位置づけ、当該地域の現状に合った支援策として、対象法人の事業拡大の取組を継続して参ります。</p>
<p>連合体を基軸にした取組みについては、先進的な事例と思います。 発表の中で、県、市、JAとの連携や手法等がもう少し具体的にあれば良かったと思います。 現場での具体的な活動、行動を整理して県域への普及をお願いします。</p>	<p>ご指摘を受け、関係機関との連携・役割分担及び手法についての説明が不足していたことに気づきました。ありがとうございます。今後、他の地域でも活用しやすいよう、具体的な活動方法を整理して参ります。</p>
<p>集落営農法人連合体は弱者連合になりかねないことが懸念される。従前の受託事業中心ではなく、法人機能を強化して自ら生産を行う展開を、資源点検から支援した本活動は高く評価できる。しかし発表からは、本成果に至るプロセスが見える化や体系化など十分整理されていないように映った。せっかくの好事例なので、普及に活かせるような工夫を期待したい。</p>	<p>ご指摘を受け、活動のプロセスや手法についての説明が不足していたことに気づきました。今後、他の地域でも活用しやすいよう、活動方法の体系化・見える化をして参ります。</p>
<p>社員の雇用・直営農地の拡大という計画を進めるにあたり、事業者と折衝し、費用面のシミュレーションを行いながら着実に進めている印象を受けた。 複数事業者の意見調整には苦労されたと思うが、前に進められているようで良かった。</p>	<p>次期普及指導計画でもプロジェクト活動の活動対象として(株)長門西を位置づけ、構成法人や対象法人の意見調整等、必要な支援を継続して行い、前に進めて参りたく存じます。</p>